

本号では、2022年度 LMAG-Tokyo 総会報告、東京支部第1回講演会報告、東京支部 EA 主催講演会報告、R10 LMAG Meet 参加報告を掲載します。

1. LMAG 総会報告

2022年度 LMAG-Tokyo 総会が3月10日(木) 14:10~14:40 に Zoom によるオンライン会議形式で開催されました。総会は林 Secretary の司会により始まり、出席数が26名との報告の後、本年度の役員(今井 Chair、太田 Vice Chair、林 Secretary) が自己紹介を行いました。続いて今井 Chair が挨拶を行い、さらに議長として以降の総会議事を進行しました。全ての議案が審議、承認され、LMAG-Tokyo 総会が無事に終了しました。以下に議案の概要を示します。

第1号議案 2021年度 活動報告

太田 Vice Chair から以下のような活動報告がなされました。

- ・2021年度 LMAG 総会を開催(3月25日)。
- ・役員会をオンサイトおよびオンラインで10回開催。
- ・LMAG 主催または共催の9回の講演会を主にオンライン形式で開催し、延べ1,193名の参加がありました。
- ・見学会に関しては、マイルストーンに因む見学会(新幹線資料館と鉄道総合技術研究所)、技術現場見学会(ANA 飛行機整備工場)が計画されましたが、Covid 19 感染拡大防止のため、実施を延期しました。
- ・2021年度の LMAG Achievement Award の申請を行い、Award を受賞しました。Award 受賞を記念して Award Ceremony をオンラインおよびオンサイトで開催し(12月10日)、参加者は45名でした。
- ・Covid-19 の感染拡大防止のため延期されていたイブニングサロンを2年半ぶりに開催(11月18日)しました。講師は日立製作所の久本大氏で、テーマは「SiC パワーデバイスの現状」でした。
- ・その他のイベントとしては、R10 LMAG Meet への参加(9月18日)、LMAG-Nagoya によるオンライン懇話会への参加(10月16日)、IEEE Metro Area Workshop 2021 in Sapporo への参加(10月30日)、IEEE 札幌支部 LMAG 設立記念イベントへの参加(10月31日)、

Japan SYWL Workshop in Sapporo への参加(10月31日)、IEEE Towers Workshop への参加(11月13日)、東京支部 Educational Activities Committee 主催のウェビナーへの参加(12月19日)、などがありました。

- ・活動内容を報告する LMAG-Tokyo Newsletter を年3回発行し、ホームページに掲載しました。
- ・IEEE LMC e-Newsletter、E10 Newsletter (Connect)などに適宜 LMAG-Tokyo の活動を記事として投稿しました。
- ・東京支部 Publication Committee の協力を得て LMAG-Tokyo Home Page の改善を行いました。

第2号議案 2022年度 活動計画

林 Secretary から2022年度の活動計画として以下の内容が説明されました。

- ・2021年度 LMAG 総会を実施(3月10日)。
- ・役員人事：2022年度 LMAG-Tokyo の活動は、昨年度に引き続き、Chair 今井元、Vice Chair 太田直久、Secretary 林秀樹の体制で進めていきます。
- ・東京支部 LMAG 会員による次期(2023~2024年度)の新役員の選出を進めます。
- ・講演会、見学会等の開催：
LMAG 主催および東京支部との共催による講演会を4回以上開催、イブニングサロンを開催、昨年より延期されていた LMAG 主催による企業見学会、マイルストーンに因む見学会等を開催します。
- ・他支部の LMAG との連携(合同講演会、合同見学会など)の検討、および他 Affinity Group 等の催しへの参加・交流を進めます。
- ・LMAG-Tokyo Newsletter を年3回以上発行し、電子メール添付で LMAG メンバーに配信するとともに、Web に掲載します。
- ・昨年に引き続き東京支部と協力して、LMAG-Tokyo の Home Page の内容の改善を図っていきます。



Fig. 1 LMAG 総会の様子(2022 年度役員)
(左から今井氏、太田氏、林氏)

2. 東京支部主催(LMAG 共催)講演会

本講演は 3 月 10 日に開催された IEEE 東京支部総会(LMAG-Tokyo 総会併催)後に開催されたもので、Zoom によるオンライン会議形式で開催されました。講師は日立製作所フェローでハピネスプラネット代表取締役 CEO の矢野和男氏で、参加者は 46 名でした。



Fig.2 リモート講演する矢野氏と講演会場

講演の概要は、

- 組織のパフォーマンスは、そこで働く従業員の「幸福度」あるいは「前向きさ」で決定されるので、従業員の働く満足度を高めるべきである。
- 持続的な幸福感を得る能力は、誰でも簡単な訓練で伸ばすことができる。この能力は、「信じる力」である「Hope」、「踏み出す力」である「Efficacy」、「立ち向かう力」である「Resilience」、そして「楽しむ力」である「Optimism」であり、これらは幸福になるための心の資本であり、それぞれの頭文字をとって「HERO」と呼ばれる。
- HERO という心の資本が簡単な訓練によって増すことができることを多くの人を対象に実施した実証

実験でも証明された。普段私達はかなり偏りのあるレンズで周囲の世界を捉えており、その偏りを修正する簡単な訓練をするだけで、世の中の見方をネガティブからポジティブにガラリと変えることができる。

3. 東京支部 EA 主催 講演会

東京支部 EA(Educational Activities)が主催する Webinar(タイトル:My Personal Journey with IEEE)が 3 月 12 日(土) 10:00 - 11:30 にオンラインで開催され、参加者は 35 名でした。LMAG-Tokyo は co-sponsor として活動を支援しました。講師は、2021 年 IEEE President を努めた Susan K. (Kathy) Land 氏でした。Land 氏は IEEE でどの様に彼女のキャリアと目標を達成したか、また技術的、人間的に成長し、指導者として育ったかを、特に彼女の特異なキャリアを強調しつつ、詳細に話しました。また、女性技術者としての視点から、例えば、仕事と家事のバランスを保つため、どのように家族のサポートが得られたのか、などについても具体的に触れました。講演の後は、多くの Q&A と活発な議論がありました。

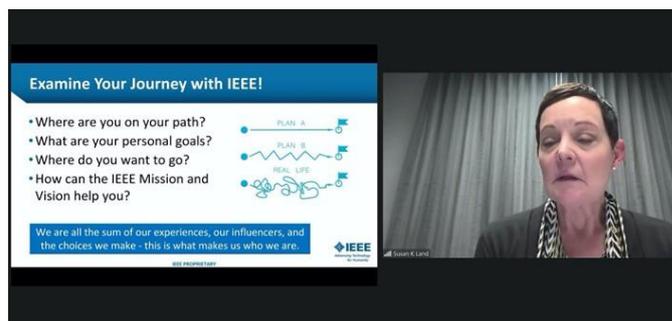


Fig. 3 講演する Susan Land 氏
(Zoom 画面よりキャプチャー)

4. R10 LMAG Meet 参加報告

R10 の LMAG の会議が 2022 年 3 月 26 日(土) 14:30(日本時間)から、オンラインで開催されました。参加者は Deepak Mathur R10 Director、Rajendra K. Asthana R10 LMC Chair、および各 LMAG Chair 19 名でした。

Ritvik Bansal の司会で開始されました。最初に Deepak Mathur から R10 での活動など、そして歴史について報告がありました。今年開催予定の韓国での SYWL について紹介されました。R10 は現在 2 つに分ける(North Asia と South Asia & Pacific)ことが進んでいることが紹介されました。

Rajendra K. Asthana からあらかじめ配布されたアジェンダに沿って報告と議論が行われました。まず、各

LMAG は活動報告を v-tool にアップすること、LMC Awards について、経費の請求について、LMAG 設立記念セレモニー、これからの LM 会議について、などが紹介されました。その後、LMAG Chair からそれぞれの状況について報告がありました。ソウルからは 8 月済州島で開催予定の SYWL について紹介がありました。

最後に参加者の集合写真を撮影して終了しました。



Fig. 4 参加者のスクリーンショット
(Google Meet からキャプチャー)

5. 今後の予定

新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、詳細は未定ですが、今後も次の様なイベントを企画しております。

講演会 (LMAG 主催、東京支部共催)

イブニングサロン

- 開催日時：6月14日 15:00-
- 講師 高野忠氏 (LMAG-Tokyo Past Chair)
- 講演テーマ：今始まる宇宙旅行
- 日本はどうする？

見学会 (LMAG 主催, TPC 共催)

- 開催場所・日時：未定
- 見学先候補地：
 - KDDI 送信所 (八俣)
 - JAXA 宇宙科学研究所 (相模原)
 - ANA 飛行機整備工場 (羽田)
 - JR 東日本研究開発センターと鉄道博物館 (大宮)